

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築工学実験						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)、必修科目(建築コース)、選択科目(デザインコース)						
担当者	河上 嘉人、依田 浩敏、津田 和明						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋や鉄筋コンクリートなど建築構造の試験法を習得する。(B1)</li> <li>・コンクリートや木材など建築材料の性質を理解し、説明できる。(B2)</li> <li>・熱、光、空気、音など建築環境の性質を理解し、説明できる。(B3)</li> <li>・試験・計測器の取り扱い方を習得する。(A2)</li> <li>・測定した結果を分析し適切に評価してレポートとしてまとめることができる。(A7)</li> </ul>						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価の方法、(依田、津田、河上) 注：第1回授業において、「実施要領」を配付し、詳しい解説を行う。</p> <p>第2回：建築環境(1)(依田) 建築生産(1)(河上) 第3回：建築環境(2)(依田) 建築生産(2)(河上) 第4回：建築環境(3)(依田) 建築生産(3)(河上) 第5回：建築環境(4)(依田) 建築生産(4)(河上) 第6回：建築環境(5)(依田) 建築構造(1)(津田) 第7回：建築生産(1)(河上) 建築構造(2)(津田) 第8回：建築生産(2)(河上) 建築構造(3)(津田) 第9回：建築生産(3)(河上) 建築生産(5)(津田) 第10回：建築生産(4)(河上) 建築環境(1)(依田) 第11回：建築構造(1)(津田) 建築環境(2)(依田) 第12回：建築構造(2)(津田) 建築環境(3)(依田) 第13回：建築構造(3)(津田) 建築環境(4)(依田) 第14回：建築生産(5)(河上) 建築環境(5)(依田) 第15回：まとめ(依田、津田、河上) 注：建築生産は4週連続で授業を行い、3週間空けて5回目の授業を行う。</p>						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習	100%	実技 部外評価 プレゼンテーション	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋や鉄筋コンクリートなど建築構造の試験法を習得する。(B1): ほぼ到達できた。</li> <li>・コンクリートや木材など建築材料の性質を理解し、説明できる。(B2): ほぼ到達できた。</li> <li>・熱、光、空気、音など建築環境の性質を理解し、説明できる。(B3): ほぼ到達できた。</li> <li>・試験・計測器の取り扱い方を習得する。(A2): ほぼ到達できた。</li> <li>・測定した結果を分析し適切に評価してレポートとしてまとめることができる。(A7): ほぼ到達できた。</li> </ul>						
反省点	・特に問題なく実施できたと考える。						
来年度の計画	・構造系の新任教員が着任するため、構造分野のコマ数を現在の3(×2)コマから5(×2)コマに増やし、替わりに生産分野のコマ数を5(×2)コマから3(×2)コマに減らすこととする。						
授業評価アンケートに対するコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの設問に対する評価点が学部平均値に比べてやや高く、総合評価点も8.5と良い評価であった。</li> <li>・自由記述は無し。</li> <li>・特にコメントすることは無い。</li> </ul>						
履修登録者数	65名	定期試験 受験者数	60名	合格者数	57名	合格率	95%